

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 5 年 7 月 26 日 (2023.7.26)

【国際公開番号】WO2023/276688

【出願番号】特願 2023-531783(P2023-531783)

【国際特許分類】

C 2 2 C 21/00(2006.01)

C 2 2 C 21/06(2006.01)

C 2 2 F 1/047(2006.01)

C 2 2 F 1/00(2006.01)

C 2 2 F 1/04(2006.01)

10

【F I】

C 2 2 C 21/00 M

C 2 2 C 21/06

C 2 2 F 1/047

C 2 2 F 1/00 6 0 4

C 2 2 F 1/00 6 1 3

C 2 2 F 1/00 6 2 2

C 2 2 F 1/00 6 3 0 A

C 2 2 F 1/00 6 3 0 K

C 2 2 F 1/00 6 8 2

C 2 2 F 1/00 6 8 3

C 2 2 F 1/00 6 8 5 Z

C 2 2 F 1/00 6 8 6 A

C 2 2 F 1/00 6 9 1 A

C 2 2 F 1/00 6 9 1 B

C 2 2 F 1/00 6 9 1 C

C 2 2 F 1/00 6 9 2 A

C 2 2 F 1/00 6 9 4 A

C 2 2 F 1/04 A

20

30

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 7 日 (2023.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

40

【請求項 1】

S i : 0 . 1 質量%以上 0 . 5 質量%以下、F e : 0 . 2 質量%以上 2 . 0 質量%以下、M g : 0 . 1 0 質量%以上 1 . 5 質量%以下を含有し、残部が A l と不可避不純物からなる組成を有し、後方散乱電子回折法により測定される単位面積あたりの大角粒界の長さ L 1 と小角粒界の長さ L 2 の比が、 $L 1 / L 2 > 3 . 0$ を満たすことを特徴とするアルミニウム合金箔。

【請求項 2】

表面に 5 . 0 原子%以上の M g を含み、且つ酸化皮膜厚さが 8 0 以上であることを特徴とする請求項 1 に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項 3】

50

集合組織のCopper方位、R方位のそれぞれの方位密度が15以下であることを特徴とする請求項1または2に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項4】

前記不可避不純物としてMn：0.1質量%以下を含むことを特徴とする請求項1～3のいずれか一項に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項5】

引張強さが110MPa以上180MPa以下、伸びが10%以上であることを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載のアルミニウム合金箔。

【請求項6】

平均結晶粒径が25μm以下であることを特徴とする請求項1～5のいずれか一項に記載のアルミニウム合金箔。 10

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

すなわち、本発明の第1の態様は、Si：0.1質量%以上0.5質量%以下、Fe：0.2質量%以上2.0質量%以下、Mg：0.10質量%以上1.5質量%以下を含有し、残部がAlと不可避不純物からなる組成を有し、後方散乱電子回折法により測定される単位面積あたりの大角粒界の長さL1と小角粒界の長さL2の比が、 $L1/L2 > 3.0$ を満たすことを特徴とするアルミニウム合金箔である。 20

30

40

50